

東大阪市豊かな環境創造基金活用事業終了報告

東大阪 環境カウンセラー協会 松浦陽子

環境基金を補助して頂きまして感謝しております。

今回は、コーヒークップ(500)と深めの皿(300)を購入させて頂きました。

事業名「デポジット&リユース事業」ですが、今後のイベント時において、使い捨て容器を利用しないことを強調し、利用してもらうための啓発を進めていきます。

事業として平成20年12月30日(火曜日)の全国ラグビー大会(近鉄ラグビー場)の湯茶接待に参加いたしました。東大阪市商工会議所のご協力でグッズ売場のテント前で、早朝7時から13時30分まで、選手・応援団・父兄・来場者にカップを温め、緑茶を飲んで頂きました。当日は大変寒かった事と、紙コップでなく心温まる容器の接待を喜んで頂きました。

なぜ{デポジット}なのかを、啓発できた現実、へとへとに疲れていても意義のあることだと頑張りました。得に、佐賀工業高校・優勝した京都の常翔啓光学園の皆さんと、容器へのこだわり、環境へのこだわり等、気軽に会話できた事も、温かい接待をさせて頂いた結果、啓発の意義を確認して頂いた効果の反響の大きさに満足しています。『紙コップでの接待』は湯茶を渡せば終わり、ゴミが増えるばかりです。渡せばよいと言う事ではないと思います。心ある接待をこれからも続けてまいります。常翔啓光学園は「1回戦勝ちました」ことを知らせて頂きましたので、1月1日(元旦)も約束し、1月3日と接待をさせて頂き優勝された事は感激でした。

1300人への湯茶の提供でしたが、選手・応援団・父兄・教師との会話が出来た事に輪の広がりを実感いたしました。

啓発事業は、容易ではないけれど、コツコツと継続する事に自信を持ちました。

「デポジット&リユース事業」が聞くだけでなく、実践されるかが、今後の課題と思いました。

今回は、容器を購入させて頂きましたが、PR方法として目に付く事が必要と思います。

今後の啓発方法として、パネル・のぼり・横断幕・看板など作り、目立つようにしたいと思いました。

イベントで「ゴミが出るのが当たり前でなく」ごみ0作戦を目指したいと思います。

イベントでの飲食で、使い捨て容器は利用せず、デポジットを利用して頂けたらと、本日参加された皆さん ご協力 ご支援のほどよろしく願いいたします。

